



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 株式会社 フュートレック 上場取引所 東
 コード番号 2468 URL <https://www.fuetrek.co.jp>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 浦川 康孝
 問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役 管理部長 （氏名） 西田 明弘 TEL 06-4806-3112
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年3月期第2四半期	793	△36.9	△185	—	△173	—	△324	—
2020年3月期第2四半期	1,258	△6.5	△156	—	△156	—	△176	—

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 △308百万円（－％） 2020年3月期第2四半期 △176百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△34.63	—
2020年3月期第2四半期	△18.83	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年3月期第2四半期	3,811	2,655	64.5
2020年3月期	4,243	2,994	65.8

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 2,457百万円 2020年3月期 2,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	2,200	△19.6	40	280.8	35	469.0	△123	△13.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	9,504,200株	2020年3月期	9,504,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	146,460株	2020年3月期	146,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	9,357,740株	2020年3月期2Q	9,357,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出時よりは持ち直しの傾向があるものの、引き続き、経済・社会活動は厳しい状況が続いております。その結果として個人消費や雇用情勢は悪化しており、景気回復の見込みは極めて不透明な状況となっております。

このような環境のなか、当社グループは、音声認識事業分野とCRM事業分野を含む「ソフトウェア開発・ライセンス事業」を中核事業とし、各事業の更なる強化に努めました。

「ソフトウェア開発・ライセンス事業」に属する音声認識事業分野におきましては、新たな分野での協業先として、9月にAI機械翻訳の株式会社ロゼッタとカスタム音声認識の開発で業務提携契約を締結し、また、バックグラウンド認証の株式会社AnchorZと本人認証に当社技術を組み入れることを目的として業務提携契約を締結いたしました。

グローリー株式会社との共同開発の成果といたしましては、音声認識技術の性能向上を目的として「口唇情報を用いた発話検知技術」を開発いたしました。今後の実用化を目指して順次、実証実験を提案してまいります。

CRM事業分野におきましては、既存の自社商品の全面改良版として新Visionaryの開発を進めると共に、売上向上を目的として「開発もできる販売パートナー」の開拓を進め、その結果8月に2社と販売代理店契約を締結いたしました。

「映像制作・メディア事業」においては、7月以降は受注及び事業活動は回復してきておりますが、緊急事態宣言発出の影響により、各テレビ局の活動自粛による番組制作の延期や各企業の広告宣伝意欲の減退等の影響を受けました。

また、2020年11月5日に「特別損失の計上並びに第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示いたしました。これは、当第2四半期連結累計期間において、特別損失（減損損失）を計上するとともに、2020年8月6日に公表いたしました当第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正をお知らせするものであります。

当該特別損失は、映像制作・メディア事業に含まれる、当社の連結子会社であるメディアジャパン株式会社の株式取得により発生したのれんについて、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったことから、回収不能と判断し、のれんの残存簿価全額を減額し、減損損失としております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績としましては、売上高は793百万円（前年同四半期比36.9%減）、営業損失は185百万円（前年同四半期は営業損失156百万円）、経常損失は173百万円（前年同四半期は経常損失156百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は324百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失176百万円）となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第20期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第21期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ソフトウェア開発・ライセンス事業	577	397	△179
映像制作・メディア事業	588	390	△197
その他事業	92	5	△87
売上高合計	1,258	793	△464

① ソフトウェア開発・ライセンス事業（音声認識事業分野、CRM事業分野、システム開発事業分野）

売上高は397百万円（前年同四半期比31.1%減）、営業損失は151百万円（前年同四半期は営業損失130百万円）となりました。

音声認識事業分野の売上高は194百万円（同42.8%減）となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、主に受託業務に係る売上が減少したことによるものであります。

CRM事業分野の売上高は180百万円（同16.2%減）となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、主にカスタマイズに係る売上が減少したことによるものであります。

CRM事業分野は、前年同四半期におきましては、新規顧客の増加に伴って一時的に開発業務が集中したことにより、外注費用等の開発経費が増加し、セグメント利益を減少させる要因となりました。それをふまえて、当第2四半期累計期間におきましては、当社の開発リソースを意識した受注活動を行いましたため、前年同四半期比で売上高が減少しております。

② 映像制作・メディア事業（映像制作・メディア事業分野）

売上高は390百万円（同33.6%減）、営業損失は36百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、主に広告代理店業務に係る主要顧客からの売上が減少したことによるものであります。

映像制作業務においては、7月以降は受注及び事業活動は回復してきておりますが、緊急事態宣言発出の影響により、各テレビ局の活動自粛による番組制作の延期や各企業の広告宣伝意欲の減退等の影響を受けました。

③ その他事業（上記を含まないその他事業分野）

売上高は5百万円（同94.5%減）、営業利益は2百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）となりました。当社は2019年7月1日付で、その他事業セグメントに含まれていたプロモーション事業を譲渡いたしました。このため、前第2四半期連結累計期間と比較し売上高が大きく減少いたしました。営業損失は改善いたしました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ431百万円減少し3,811百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が3,243百万円（前連結会計年度末比377百万円減）、固定資産が567百万円（同54百万円減）であります。流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少70百万円、受取手形及び売掛金の減少300百万円、仕掛品の増加22百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、のれんの減少163百万円、無形固定資産のその他の増加110百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が264百万円（同284百万円減）、固定負債が891百万円（同191百万円増）であります。流動負債の主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少130百万円、流動負債のその他の減少134百万円によるものであり、固定負債の主な変動要因は、長期借入金の増加189百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の減少352百万円等により2,655百万円（同338百万円減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳しくは、本日別途公表いたしました「特別損失の計上並びに第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,777,660	2,707,327
受取手形及び売掛金	521,631	220,937
有価証券	200,000	200,000
仕掛品	27,176	49,966
その他	96,984	66,469
貸倒引当金	△2,177	△957
流動資産合計	3,621,275	3,243,744
固定資産		
有形固定資産	53,118	48,387
無形固定資産		
のれん	163,454	-
ソフトウェア	88,369	79,452
その他	36,742	147,183
無形固定資産合計	288,566	226,635
投資その他の資産		
投資有価証券	231,770	246,517
繰延税金資産	2,641	735
その他	45,888	45,655
投資その他の資産合計	280,300	292,908
固定資産合計	621,985	567,932
資産合計	4,243,260	3,811,676
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,466	66,005
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	130,000	-
未払法人税等	37,116	9,481
賞与引当金	1,473	24,145
その他	199,945	65,002
流動負債合計	549,001	264,634
固定負債		
長期借入金	700,000	889,400
繰延税金負債	-	1,796
固定負債合計	700,000	891,196
負債合計	1,249,001	1,155,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	733,979	733,979
資本剰余金	920,215	920,215
利益剰余金	1,221,223	869,136
自己株式	△70,014	△70,014
株主資本合計	2,805,402	2,453,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,154	4,077
その他の包括利益累計額合計	△15,154	4,077
非支配株主持分	204,010	198,452
純資産合計	2,994,259	2,655,845
負債純資産合計	4,243,260	3,811,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,258,118	793,612
売上原価	984,713	615,161
売上総利益	273,404	178,451
販売費及び一般管理費	430,353	363,956
営業損失(△)	△156,948	△185,504
営業外収益		
受取利息	95	73
受取配当金	550	400
投資事業組合運用益	—	11,399
為替差益	—	121
受取保険金	2,743	—
助成金収入	—	2,000
その他	1,832	1,169
営業外収益合計	5,221	15,164
営業外費用		
支払利息	3,548	3,569
その他	806	52
営業外費用合計	4,355	3,622
経常損失(△)	△156,082	△173,962
特別利益		
固定資産売却益	63	—
特別利益合計	63	—
特別損失		
固定資産除却損	1,499	—
投資有価証券評価損	12,356	—
減損損失	—	147,887
特別損失合計	13,856	147,887
税金等調整前四半期純損失(△)	△169,874	△321,849
法人税、住民税及び事業税	10,388	3,934
法人税等調整額	△2,610	1,906
法人税等合計	7,777	5,840
四半期純損失(△)	△177,652	△327,690
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,429	△3,677
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△176,223	△324,013

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△177,652	△327,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	678	19,231
その他の包括利益合計	678	19,231
四半期包括利益	△176,974	△308,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△175,545	△304,781
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,429	△3,677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。